

信学会 教育方針

子どもたちの主体的な学びと 他者との関わりで生まれる経験を通じて
生涯にわたり自ら学び続ける人間を育てる

子どもたちが「自分を好きになり、愛されている」と実感し心を満たされることで、物事への興味関心や他者とのかかわりが生まれます。安茂里幼稚園では、まずは、一人ひとりの子どもたちの育つ姿を大切に捉え、心が動くような体験を通して、自ら学び育つ子どもたちの姿を支えられるよう、環境や遊びの実践をしていきます。

信学会安茂里幼稚園 教育目標

『みつけよう やってみよう かんがえよう』
～遊んでワクワク 大好きいっぱい 心も体も大きくなあれ～

目指す子ども像

『自ら ひと もの こと とつながる』

自分が好き
人が好きな子

楽しく
挑戦する子

心豊かに
表現する子

具現するための実践

体で自然を感じる
芝生の園庭
あもりっこ畑
園周辺の散歩

多様な人との関わり
異年齢交流
小学校との交流
地域交流

夢中になって遊ぶ
遊びこむ
やってみたいの実現
心が動く体験

学年の目標

<年少>

- ① たくさん遊んで好きな遊びを見つけよう
- ② やりたいことをみつけよう
- ③ 友だちを好きになろう

<年中>

- ① 自らできた！わかった！をみつけよう。
- ② やりたいことはやってみよう
- ③ 相手の気持ちを考えよう

<年長>

- ① 心の根っこを育てよう
- ② なりたい自分を考えよう
- ③ たくさんの喜びを感じよう

<教育目標について>

○教育目標への思い○

幼児期において『遊びは学び』となります。子どもたちは遊びを通して、じっくりと取り組むこと、考えたり工夫したりすること、友だちと共同すること等、様々なことを経験し自分の力へと変えていきます。私たち大人が与える知識ではなく、子どもたちが自ら経験しているプロセスでの姿が大切であり、そのプロセスは一人ひとりの育ちの歩みでもあります。

私たち信学会安茂里幼稚園では、子どもたちがまずは自分のことを好きになり生き生きと生活することから、自分の思いを伝えてのびのびと遊び、興味関心を探求し、創意工夫をし、様々な体験をすることで友だちと共同して遊ぶ子どもの姿を願っています。

そして、自ら「ひと・もの・こと」とつながり、未来に向かう子どもたちの生きる力の基盤が育つこと願っています。

○保育の中で大切にしたいこと○

子どもたちが「自分を好き」「愛されている」と感じ、心が満たされるよう、一人ひとりの育つ姿を支えていきます。

「好きなこと・好きなもの・好きな人」を見つけて夢中になることで、新たな経験に目を向けたり五感で感じたり、不思議に思ったり、探求したりと、子どもたちの感性を揺さぶる環境や遊びの実践をしていきます。

○保育で実践すること○

芝生の園庭で全身を使って心も体も開放して遊んだり、畑での栽培や収穫、園周辺の散歩等で動植物に目を向け、四季を感じる経験をする。

園内での異年齢交流、小学校や地域との交流を通して、憧れや思いやりの気持ちを育む。

子どもたちが自ら環境に関わり、とことん遊びこみ心が動くような体験へとつながる環境の設定をする。

子どもたちと生活をしていると、私たちが「あたりまえ」だと思っていることがすべてではないと気付かされることがたくさんあります。3歳～6歳になる小さな子どもたちですが、一人ひとりが自分なりにしっかりと思いをもって行動しています。その思いをしっかりと受け止め共感し、共有していくことが「子ども主体」という保育にもつながっています。

私たちは子どもたちの育ちを支えるだけでなく、子どもたちの育つ姿から多くのことを学ばせてもらっています。

そのような子どもたちの思いや育つ姿を保護者の皆さまとも共有し、支え合い、喜び合い、共に育ち合う「共育ち」の関係でありたいと思っています。

ご家庭でのお子さんの様子もぜひ、お話してください。よろしくお願いします。